

2/18 (日) 「就活の今」を学ぶ

文化会館小ホールで、「保護者のための就活セミナー」が開催されました。このセミナーは、複雑多様化する就職活動について情報提供を行うことで、市内への就業やUIJターンの促進を目的としたものです。

当日は、ハローワーク矢板による就職ガイダンスや市内企業代表者によるシンポジウムに続き、(株)リクルートキャリアの新卒就活支援担当者から、現在の就職環境や就活生に対して保護者ができるサポートなどについて話があり、参加者たちは真剣に聴き入っていました。



2/23 (金) 幼児に防火啓発活動

泉保育所で、女性消防団員による初の幼児向け防火啓発活動が行われました。当日は、2歳以上の児童たち約30人が参加し、手描きのイラストやフェルトなどを使った女性消防団員手作りの啓発グッズを使いながら、火事の際は煙を吸わないように体勢を低くして移動することや、着ている服に火が燃え移ってしまったときは走り回らず、「ストップ、ドロップ&ロール(止まって、倒れて、転がって)」を行うことなどが説明され、それぞれ練習を行いました。



▲「ストップ、ドロップ&ロール」を実践する児童たち。顔へのやけどを防ぐために、両手で覆いながら転がり、火を消す練習をするところ。

2/25 (日) 講座生の発表会

矢板公民館・文化会館・図書館で、24日(土)から2日間にわたり、「フェスタ in YAITA」が開催されました。このイベントは、市民講座生による作品展や体験教室、作品即売会などを行うことで、日ごろの成果を発表する場を提供するとともに、市民同士の交流を図るものです。

このほか、おでん・つきたてお餅などの模擬店や、図書館でのリサイクル市・寄席の開催、矢板ウィンドオーケストラによる特別演奏会も行われ、多くの方がイベントを楽しんでいました。



2/25 (日) こどものひろば2周年

ココマチ2階の「こどものひろば」で2周年記念イベントが開催され、市内外から200人を超える多くの親子連れが訪れました。ボールプールでまり入れゲーム、キッズスペースで輪投げ大会が行われるなど、さまざまな催しに親子たちは楽しそうに参加していました。

イベントに訪れた方からは「天気を気にしないで遊べるので、よく利用する。アトラクションも手作り感があり温かみを感じた。よい思い出になった。」などの感想が聞かれました。



3/4 (日) 水のリレーで消火訓練

矢板南産業団地で、春の消防団訓練が行われました。今回は、近くに消火活動に使用できる水源がない林野火災を想定し、近くの河川から想定火災現場までを消防車両とホースを繋ぐ「中継送水訓練」を実施しました。訓練は2班に分かれて行い、1.2kmと0.7kmの距離を消防車両延べ24台と約100本のホースで中継しました。

また、まもなく市制施行60周年を迎えるにあたり、消防団訓練で初めて着色した水によるカラー放水が行われると、見学に訪れた方々からは歓声が上がりました。



3/11 (日) 医療史から歴史を探る

生涯学習館で、「歴史講演会」が開催されました。講師にさくら市ミュージアムの小竹副館長を招き、江戸～大正時代の「しおやの医療史」について講演いただきました。

「解体新書」の翻訳メンバーとして知られる杉田玄白の妻が喜連川藩士の娘であったことや、当時の病気の概念を表現した絵などを交えながら、「天然痘」「コレラ」など、猛威をふるった病気に対して、全国、そして塩谷地区の医師たちがどのように対処していたか、などをお話いただきました。



3/19 (月) グラウンド・ゴルフを振興

県体育協会がスポーツ振興に貢献、または顕著な功績を残した方に贈る「スポーツ功労賞」を受賞した横塚喜代治さんが市長を表敬訪問しました。現在、県グラウンド・ゴルフ協会顧問を務める横塚さんは、これまで全国大会の運営や県内各地での指導者育成などを通じて、グラウンド・ゴルフの振興に多大な功績を残したことが評価され、今回の受賞となりました。

横塚さんは「会員2,500名の協力と恵まれたスタッフの活動による協会全体の受賞だと思う」と話してくれました。



<横塚さんの活動実績>
●県・市グラウンド・ゴルフ協会の役職を担う一方で、指導者育成や普及活動を推進
●「第27回ねりんピック」、「第24回全国スポレク祭」の大会役員として、企画・運営に尽力(左下)

▲(左から) 県グラウンド・ゴルフ協会室町理事、渡辺体育協会会長、市グラウンド・ゴルフ協会福本会長、横塚喜代治さん、村上教育長、齋藤市長